

キャプチャソフトウェア 取扱説明書

目次

第1章 はじめに.....	3
[1]キャプチャソフトの特長.....	3
[2]キャプチャソフトの使用環境.....	3
[3]サポートするプリンタ	3
第2章 プリンタの接続	4
第3章 プリンタの設定	4
第4章 キャプチャソフトのインストール	5
第5章 キャプチャソフトの使用方法	5
[1]プリンタの準備.....	5
[2]キャプチャソフトの起動.....	5
[3]メインダイアログ	5
[4]名前を付けて保存	6
第6章 トラブルシューティング	7

第1章 はじめに

[1]キャプチャソフトの特長

キャプチャソフトは、三菱カラービデオコピープロセッサ(以下プリンタ)のユーティリティソフトウェアです。

[2]キャプチャソフトの使用環境

キャプチャソフトを動作させるためには、以下のソフトウェアとハードウェアが必要となります。

- *コンピュータ Intel PentiumIII®、Intel Pentium4、Celeron 以上の Processor
SCSIボードが無い場合、Adaptec社製互換SCSIボードが必要です。
- *主記憶メモリ 128MB(512MB 以上推奨)
- *ハードディスク.....空き容量1GB以上推奨
- *システムソフトウェア Microsoft®Windows®98 / 2000 Professional / XP Professional
- *ケーブル SCSI ケーブル
マイクロミニ50pin---アンフェノールハーフピッチ50pin
- *プリンタ 三菱カラービデオコピープロセッサ^(注1)：CP1500A/CP2000A

[3]サポートするプリンタ

サポートするプリンタと入力信号周波数を以下に示します。

詳細についてはプリンタの取扱説明書をご覧ください。

(1) CP2000A

水平周波数：15～85kHz

垂直周波数：45～80Hz

(2) CP1500A

水平周波数：15～60.5kHz

垂直周波数：45～80Hz

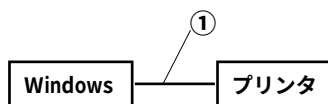
注1:CP2000AとCP1500Aは、SCSIボードSB-2000が必要です。

第2章 プリンタの接続

まず、Windowsとプリンタを接続します。Windows及びSCSI機器は必ず電源を切った状態で接続するようにしてください。

(1)ご使用中のSCSI 機器の中で空いているSCSI ID を調べてプリンタに設定してください(SCSI ID の設定の仕方については各プリンタの取扱説明書をご覧ください)。正しく設定されていない場合(ID 番号が他のSCSI機器と重なっている場合)、ハードディスク等の内容を壊すことがあります。(参考：Windows のSCSI ID番号はハードディスクが0です。)

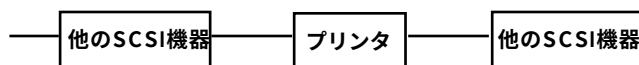
(2)SCSI機器がプリンタのみの場合は、機器間の接続に①SCSIケーブル（マイクロミニ50pin---アンフェノールハーフピッチ50pin）をご使用下さい。



(3)他のSCSI機器とプリンタをディジーチェーン接続でご使用になるとき、Windowsからみて最後に接続する場合は、接続相手のSCSI 機器に合うSCSI ケーブルをご使用下さい。



(4)プリンタがWindowsから見て2台目以降に接続されているときには、プリンタ前後には接続相手のSCSI 機器に合うSCSI ケーブルをご使用下さい。(注2)(注3)



(5)上記いずれの接続の場合でも最終端にプリンタが接続されているときは、以下の方法で終端抵抗(ターミネータ)を取り付けてください。CP2000A/CP1500A ではSCSI ボードのDIP SW bit4を on にすることによって内部の終端回路が動作します。

第3章 プリンタの設定

- (1)プリンタの電源をONにしてください。
- (2)プリンタを映像出力機器（パソコン、又は ハイビジョンチューナ）に接続して下さい。
- (3)インプットセレクターをSCSI にしてください。
- (4)プリンタが ON LINE であるかどうか確認して下さい。
詳細についてはプリンタの取扱説明書をご覧ください。

注2:全てのSCSIケーブルの長さが合計6メートルを超えないようにしてください。SCSIケーブルはなるべく短いものを使用することをお勧めします。

注3:SCSIケーブルは別途お買い求めください。プリンタ側はアンフェノールハーフピッチ50Pinです。

第4章 キャプチャソフトのインストール

キャプチャソフトのインストールは、以下の方法で行って下さい。

- (1)Windows を起動します。
- (2)CD-ROM をドライブに挿入して下さい。
- (3)CD-ROM 内のCapture フォルダをハードディスクにコピーして下さい。



Capture

Capture フォルダの内容は、CaptDLL.dll とCapture.exe となります。



CaptDLL.dll



Capture.exe

- (4)インストールは終了です。

第5章 キャプチャソフトの使用方法

[1]プリンタの準備

インプットセクターをSCSI にして下さい。

LCDパネルにSCSI と表示されていることを確認して下さい。

(ON LINE ボタンを押し、OFF LINE 表示が消えた状態にして下さい。)

[2]キャプチャソフトの起動

Captureフォルダの中にあるCapture.exeをダブルクリックして下さい。



Capture.exe

プリンタが正常に接続されていればメインダイアログが表示されます。

[3]メインダイアログ

メインダイアログについて説明します。



(1)メモリボタン

メモリ（撮像）を実行します。

(2)保存ボタン^(注4)

メモリされているデータをBMP ファイルに保存します。

名前を付けて保存のダイアログを開きます。

(3)プログレス

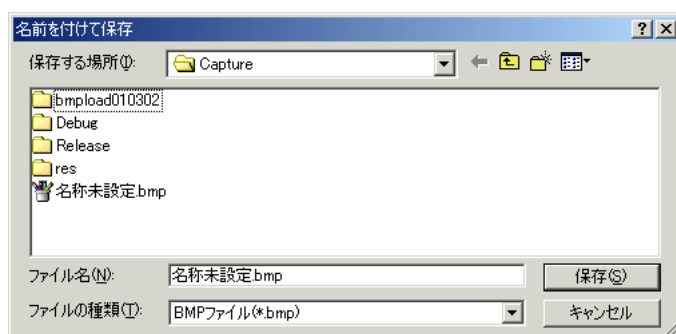
保存処理状況を表示します。

(4)終了ボタン

キャプチャソフトを終了します。

[4]名前を付けて保存

名前を付けて保存ダイアログについて説明します。



(1)保存する場所(I)

保存する場所を指定できます。

(2)ファイル名(N)

保存するファイル名を入力します。

(3)ファイルの種類(I)

ビットマップ形式固定です。

(4)保存ボタン(S)

キャプチャソフトに画像データを転送します。

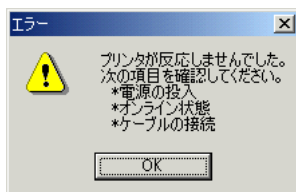
読み込みを開始して、データをBMPファイルに出力します。

注4：メモリしていないと保存はできません。

プリンタの水平画素数が奇数の場合は1減算し、偶数になおして転送されます。

第6章 トラブルシューティング

症状 エラーメッセージ



- 原因1 : プリンタの電源が入っていない。
対策1 : プリンタの電源が入っているかどうか確認して下さい。
原因2 : インプットセレクトスイッチがSCSI以外(PARALLEL, RGB)になっている。
対策2 : インプットセレクトスイッチをSCSIにして下さい。
原因3 : ケーブルが正しく接続されていない。
対策3 : ケーブルが正しく接続されているかどうか確認して下さい。

症状 エラーメッセージ



- 原因1 : 映像信号が入力されていない。
対策1 : 入力信号を確認してください。
原因2 : 入力信号が規定外である。
対策2 : 規定の信号を入力して下さい。

症状 エラーメッセージ

「保存に失敗しました。」

- 原因1 : パソコンの容量が足りない。
対策1 : パソコンの容量を確認して下さい。
原因2 : メモリ画像がない。
対策2 : プリンタの電源を入れ直して再度、メモリ、保存を行って下さい。

症状 エラーメッセージ



- 原因 : WNASPI32.dllがインストールされてない。
対策 : Windows ASPIパッケージよりWNASPI32.dll をインストールして下さい。
詳細はアダプテック社ホームページをご覧ください。